

# ITチャレンジコース

(訓練期間 1年 4月生・10月生 募集定員 10名 身体障害者対象)

## 人材育成目標

- 次の3つの人材の育成を目指します。
- マイクロコンピュータを組み込んだIoT機器のハードウェア・ソフトウェアの開発を行える人材
  - モバイル端末等の各種アプリケーションの開発を行える人材
  - 企業内で活用される情報システムの運用管理をサポートする人材

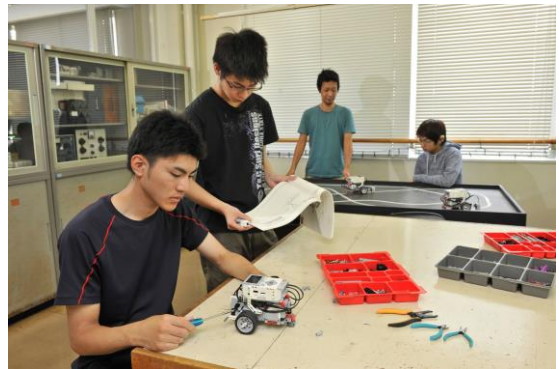
## ここがポイント!!

- 共通訓練(IT活用技術)を基盤にして、開発系か運用系でコースを選択することが出来ます。
- 開発系のコースについては、さらなる共通訓練(開発基礎)を基盤にして、電子系か情報系でコースを選択することが出来ます。
- 実際に訓練を行いながら、本人の知識・技術の習得状況によりコースを選択し、マッチングする職種への就労を目指します。

## 目指す職種

- 電子機器製造・回路設計者
- システムエンジニア・プログラマ
- 企業内における情報システム運用管理者

## 訓練カリキュラム



## 共通(IT活用技術)

## 選択

(学科)

- 電気・電子基礎②
  - 情報技術基礎③
  - ネットワーク基礎②
- (実習)
- アプリケーション基本操作⑭
  - ワープロ基本操作③
  - 表計算基本操作④
  - プレゼンテーション基本操作③
  - データベース基本操作④
  - Excel VBA 基礎④
  - ネットワーク機器設定②
  - Linux基礎⑧
- (ビジネススキル)
- 簿記入門
  - ビジネスマナー

開発系  
コース

運用系  
コース

(実習)

- 回路設計・製作⑧

電子系コース

(実習)

- デジタル回路基礎④
- C言語プログラミング⑥

マイコン  
コース

HDL  
コース

情報系  
コース

(学科)

- マイコン概要③
- (実習)
- マイコン利活用③

(学科)

- HDL文法③
- (実習)
- HDLによる回路設計③

(実習)

- Javaプログラミング⑧
- モバイルアプリケーション開発⑥

(学科)

(実習)

- 経営情報基礎⑧
- 情報セキュリティ基礎⑧
- Windowsサーバ管理基礎⑧

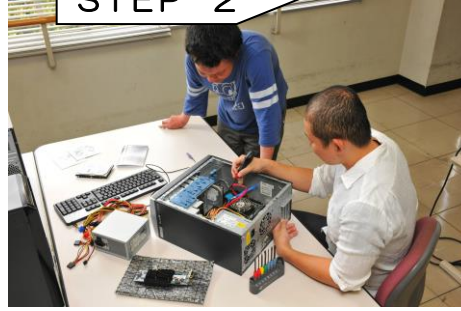
## 訓練の進め方

### STEP 1



はじめは、各コース共通の基盤となる知識・技術を習得していきます。

### STEP 2



次に、開発系・運用系の2コースに分かれ、それぞれ基本的な知識・技術を習得していきます。

### STEP 3



最終的に電子系・情報系・運用系の3コースに分かれ、それぞれ専門性を高めていきます。

## 訓練内容

### IoT(組み込みシステム)開発



回路の試作

### 基板加工機による、回路作成



完成した回路に、プログラムを書き込み  
流れる文字やスピードを制御します

### アプリケーション開発



### システム運用管理



### 予想される就職先

- 自動車、電機機器メーカー
- 情報サービス業
- 企業の情報システム部門
- その他

### 関連資格

- ITパスポート
- 日商PC検定
- 情報セキュリティマネジメント

※選択したコースにより異なります。